



札幌医科大学
消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座
DEPARTMENT OF SURGERY,
SURGICAL ONCOLOGY AND SCIENCE

上部消化管チーム



Web: <http://sapmed-surg1.jp>

● 診療内容

✓ 対象疾患

食道癌・胃癌

高度肥満症

食道裂孔ヘルニア・胃GISTなど

✓ 治療方針

根治性・安全性を第一に癌治療に取り組んでいます。高度進行例や切除不能例に対しても決してあきらめずに、手術と化学療法を組み合わせた集学的治療を行い治療成績向上に努めています。また、鏡視下手術やロボット手術を行うことで、最大限の治療効果を発揮しつつ、低侵襲性・整容性にも配慮しています。

● スタッフ紹介



講師

信岡 隆幸

外科治療が必要な患者さんはもちろん、上部消化管疾患でお困りの際にも是非お声掛けください。



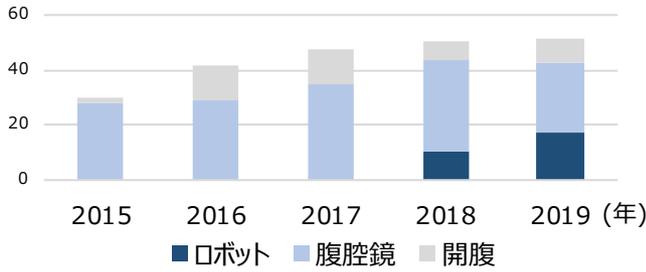
助教

伊東 竜哉

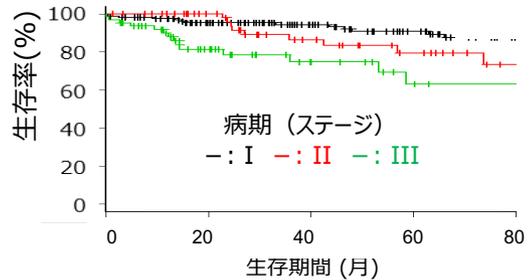
集学的治療やリハビリ・栄養管理など、総合的診療にも力を入れています。

診療実績

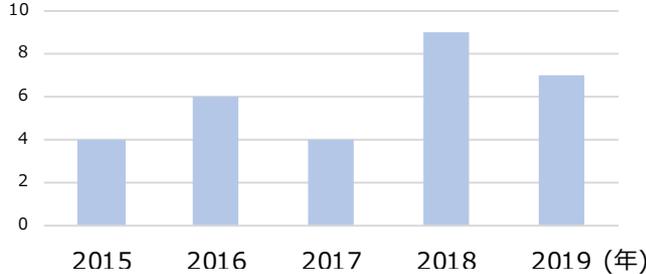
胃癌手術症例数の推移



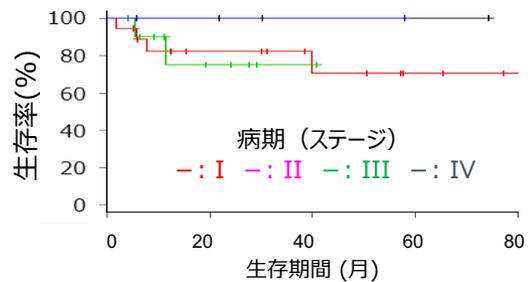
ステージI~III 胃癌に対する手術成績



食道癌手術症例数の推移



ステージI~IV 食道癌に対する手術成績



集学的治療

手術単独では根治が困難な進行食道癌・進行胃癌に対して集学的治療を行います。

進行食道癌に対する術前化学療法後の根治手術



治療前食道癌

術前化学療法

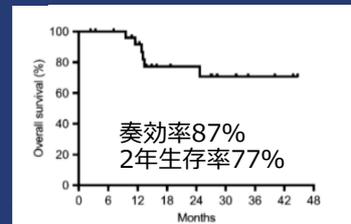
DNF療法



化学療法後

根治手術

化学療法後の
計画的な手術



治療成績

切除不能胃癌に対するconversion surgery



治療前肝転移巣

化学療法

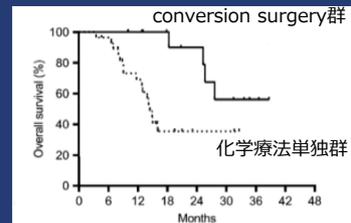
mDCS療法



化学療法後

conversion
surgery

治癒切除を
目指した手術



治療成績

教室概要

名称 札幌医科大学
消化器・総合、乳腺・内分泌外科

住所 〒060-8543
札幌市中央区南1条西16丁目
臨床教育研究棟 9階

教授 竹政 伊知朗

お問い合わせ

TEL: 011-611-2111 (内線32810)

FAX: 011-613-1678

Web: <http://sapmed-surg1.jp>



sapmed-surg1.jp

アクセス



● 高度肥満症に対する外科治療



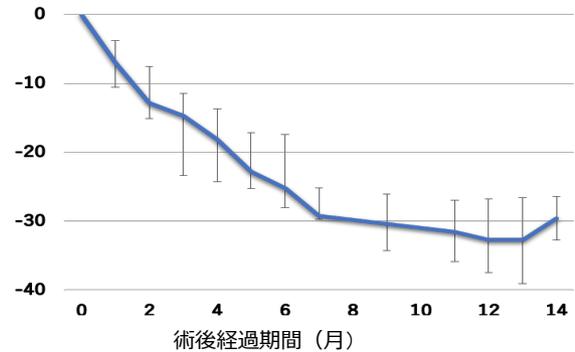
術前
BMI 44.8



術後16か月
BMI 29.9

2018年度より肥満外科治療プログラムを導入しました。本治療法は保険診療が可能であり、減量のみならず肥満合併症が改善し、生命予後の延長につながる事が示されています。

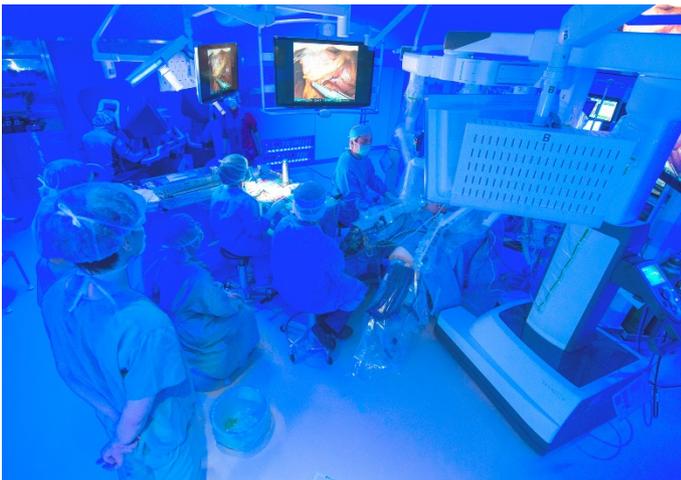
● 術後体重減少率 (%)



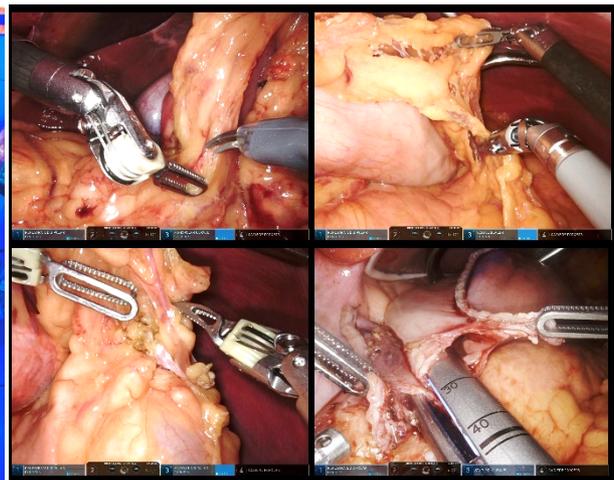
● 肥満合併症の改善 (n=7)

	術前	術後3か月
糖尿病	3(43%)	0(0%)
高血圧	4(57%)	1(14%)
脂質異常症	3(43%)	1(14%)
肝機能障害	1(14%)	0(0%)
睡眠時無呼吸症候群	6(86%)	4(57%)

● 胃癌に対するロボット支援手術



手術ロボット(da Vinci Xi)



3Dモニターでの術中画像

2018年4月からロボット支援手術の保険適応が胃癌にも拡大されました。当科でも保険診療が可能となり、手術症例数は年々増加しつつあります。従来の腹腔鏡下手術以上に緻密な操作が可能で、胃癌手術においては術後合併症のリスク軽減に寄与すると考えられています。



当教室は、『最新かつ安全確実な医療の提供』を目指して、個々の患者さんにきめ細やかに対応した治療を行っています。私たちは、専門的な医療技術・知識を身につけるための日々の研鑽はもとより、患者さん一人一人に真摯に向き合い、各疾患に対するプロフェッショナルな集団としてチーム診療することを大切にしています。

食道癌・胃癌に対して、根治性・安全性・低侵襲性を兼ね備えた治療を実践しています。さらに高度進行癌には、手術と化学療法を組み合わせることで成績向上に努めています。

平成30年度からは肥満外科手術を導入し、高度肥満および合併症に悩む患者さんの治療選択肢の一つとなりました。